

本日、議論いただきたいポイント

三重県では、人口減少に的確に対応するために、令和5年8月に「三重県人口減少対策方針」を策定し、対策に取り組んでいます。

しかしながら、依然として若者を中心とした転出超過は続いており、本年の転出超過数は、10月末時点で5,477人と近年になく増加している状況です。(昨年度は1月～12月で3,875人)

県内の労働力不足が深刻化する中、県内企業等の労働条件や職場環境を向上すること等によって魅力を高め、若者の県内定着促進や人口還流につなげる必要があると考えます。

出産や子育てを希望する者にとっては、仕事と家庭の両立が課題となっています。男性の家事・育児の参加度合が第2子以降の出産意欲に影響を与えていることが指摘されていることなどを踏まえ、長時間労働の是正や男性育休の促進なども含め、魅力ある職場づくりを進めていくことが県内定着につながるものと思われまます。

人口減少が進む中、若者の定着促進や人口還流などのために、企業や大学、行政などの各主体が取り組むべきことや、現状・課題について、大局的な視点から、幅広くご意見をいただきたいと思ひます。

ポイント1

若者を中心とした転出超過が続くなか、企業の労働力不足等の現状はどうか。また、学生の就職の動向はどうか。

ポイント2

若者や女性が働きやすい職場環境づくりや若者の県内就労促進、企業が求める人材の確保のために、企業、大学、行政が行うべき取組や、産学官が連携して取り組めることは何か。

ポイント3

資料2のとおり宣言し、今後連携して取り組みをすすめることといたしたいがどうか。